

紙面ひろげたデー

「一羊会だより」で紹介しきれなかった話題を集めてお届けします。

『あとりえすずかけ夏の雑貨展』 2025年7月4日～8日 開催 ※6日はお休み

題字と絵 森本 拓巳 / 写真と文 神田 浩平

すずかけの間 その9

2025年度入職

新任職員さんインタビュー

入職して2カ月たった新任職員さんたちの現在についてお聞きしました。

うつみ あゆみ
内海 歩美

すずかけ作業所 あおぞら班所属

マンションの清掃、資源回収、除草作業を利用者さんと一緒にやっている。

A1 利用者さんに助けてもらっていることが多いと感じます。作業中、背の届かないものや重たいものに困っていたら助けてくれたり、朝元気に「おはよう」と言ってくれたり、日々の会話で笑顔にさせてくれたり…。毎日たくさん助けてもらっています。

A2 私の運動を楽しみにしてくださっていた利用者さんがいました。最近作業現場へ運転していただけるようになったのですが、その際に「おお! やっか! おめでとう!」と笑顔で手を叩いてくれました。

A3 利用者さんの人生の一部分に関わらせてもらっているのが、作業所に来るのが楽しいと思ってもらえるように日々の関わりを大切にしていきたいです。何が苦手で何が苦手なのかわからないのが探りながら楽しい時間を利用者さんと一緒に増やしていきたいです。

A4 食べることが好きなので、食べたいものを食べたいときに食べに行きます。ラーメンとお寿司が好きなので、大体は2杯になります。何の予定もない日は、目覚ましをかけずに好きなだけ寝て過ごすのが好きです。

ひさえ みう
久江 美羽

上甲子園すずかけ作業所 菓手班所属

菓子の製造や販売、工房での利用者さんのサポートを行っている。

A1 入職前は利用者さんとのコミュニケーションに対して不安がありました。利用者さんと働き、色々な話をするうちに少しずつ伝え方や、相手の言いたい事を理解できるようになりました。今でもコミュニケーションの難しさはあるけれど、利用者さんにどう伝えるか、理解するかを考えるのも楽しいです。

A2 ある利用者さんが私の誕生日を覚えてくれてプレゼントをくれました。当日は土曜日だったのでわざわざ金曜日に「誕生日おめでとう」と言ってプレゼントをくれました。とても嬉しかったです。

A3 今までは自分の事でいっぱいでしたが、これからは周りを見て自分で考えながら支援できるようになりたいです。それぞれの利用者さんに合った関わり方を見つけて信頼関係を築いていけるように頑張りたいです。

A4 家の掃除、買い物に行って服や雑貨を買う。

たなか みゆ
田中 未夢

すずかけ第2作業所 5グループ所属

余暇活動をメインとしたグループで、カラオケ、風船パレード、ウォーキングなど利用者さんの様々な活動をサポートしている。

A1 分からないこともまだまだ沢山ありますが、毎日やりがいを感じながら楽しく勤務しています。大変なことも多いですが、日々色々な学びを得ています。

A2 入職してすぐの頃、たくさんの利用者さんが自己紹介してくれました。お昼休みにわざわざ私のところまで話に来てくれる方もいて、凄くうれしかったです。2カ月たった今でも廊下で会って話しかけてくれる方がたくさんいて、その度にほっこりした気持ちになります。

A3 早く慣れることはもちろんですが、利用者さん1人1人との関わりを大切に、それぞれのニーズに沿った支援が出来るように頑張っていきたいです。

A4 友人と遊んだり、アニメをみたり、気の済むまで寝ています。

はせがわ たいち
長谷川 太一

すずかけ労働センター所属

マンション・ワンルーム巡回清掃、除草作業、自転車のパン・磨きを利用者さんと一緒にやっている。

A1 思っていた以上に難しい仕事で日々大変なこともあります。利用者さんとたくさん関われば関わるほど新しい発見、気づきもあります。自分を大きく成長させる場所でもあると感じています。

A2 利用者さんから「長谷川さん一緒に外食行こ」と誘われた時、すごく嬉しかったです。自転車のパンが中々出来なくて困っていた時に、利用者さんに協力してもらい、利用者さんの手際の良さに驚きました。

A3 専門的な知識を積極的に学び、理解を深めていきたいです。利用者さんそれぞれに合った支援をしていき、自分と一緒に成長していきたいです。

A4 中学～大学と10年間陸上部（短距離）だったので、今も趣味で運動すること、YouTubeで陸上の動画を見ている。阪神タイガースのファンであり、テレビで阪神戦はいつも見えています。



3月にあとりえすずかけで新田隆作さんと西村猛さんの展覧会が開催されました。おふたりが長年すずかけ絵画クラブで描いてきた作品の中から選りすぐられた25点近くの作品が会場にかけられました。



すずかけ作業所屋外班の皆さんと来場してくれた新田さんは、少し照れくさそうにしながら自身の作品と会場で流れたドキュメンタリー映像をじっと観ていました。新田さんの作品は20年以上前に描いたものから、今年描いたものまで幅広く展示され、時とともに作風が変化してきた様子が分かる展示となりました。

鳥やヒーローを好んで描いた西村さんのインパクトのある絵には、くぎ付けとなる来場者が続出しました。「目が離せなくなる」と言って連日来られた方も。現在はもう絵を描いていない西村猛さんも期間中に一羊園から来場しました。



会場で武庫川すずかけ作業所時代に一緒だった職員さんたちと再会し、時折笑顔を浮かべながら、昔のアルバムを眺め、当時のことを思い出している様でした。

つどい場さんびお

武庫川すずかけ作業所の1階にある交流スペースで、障害のある人のお母さん達が月に数回、カフェを開いておられます。一般の方は200円、利用者さんは100円でドリンクの注文ができ、お菓子もたくさんついてきました。驚きの安さ!



さんびおさんは『障害のある子どもを育ててきた母たちが高齢になっても引きこもることなくお互いに見守り合える場。子育て世代や地域の人たちを含めて「障害」という共通項をベースに色々な立場の人達が出会い知り合える場所』として2024年9月にオープンしました。

カフェには、作業所とは別の入口から出入りができます。どなたでも注文しやすいように視覚的に分かりやすくメニューが用意されているのもおすすめポイント。すずかけ第2作業所など、他事業所の利用者さん達も利用されているそうですよ。

オープン日時

木曜日 13:30～16:00
(第1木曜日を除く)

場所

武庫川すずかけ作業所1階

みなさんも是非!

サニカム班の
野菜づくり

すずかけ作業所サニカム班では、庭の隙間やプランターを利用した野菜づくりが行われています。毎日、午後の活動は苗を植えたり、土づくりを行っていて、職員の皆さんも自分たちで知識を集めながら取り組んでいるそうです。自分たちで育てて収穫をして、美味しい夏野菜カレーを食べるのがこの夏の目標だそうです!

